

柏崎市議会柏崎市新庁舎建設特別委員会 概要報告

日 時 平成27年12月 2日（水）午後1時00分～午後2時50分

出席委員 14人

加藤委員長、相澤副委員長、佐藤（正）委員、持田委員、柄沢委員、春川委員、
矢部委員、若井（恵）委員、三井田委員、飯塚委員、笠原委員、村田委員、齋木議長、
真貝副議長

（欠席：与口委員）

委員外議員 5人

重野議員、五位野議員、阿部議員、三宮議員、上森議員

【協議事項】

柏崎市新庁舎建設基本計画（案）について（当局からの説明）

《概要》

市当局から基本計画（案）について説明を実施した。

《質疑》

春川委員：冒頭に市民説明会についての話が出たが、周知の方法は。

新庁舎整備室長：市長の記者会見での発表、広報かしわざき12月5日号への記事の掲載、パブリックコメントの閲覧用を設置する6施設にチラシを設置し、周知したいと考える。

春川委員：市民にわかりやすい周知をお願いしたい。

持田委員：市民説明会もパブコメも日程が決まってきている。既に建設が具体化しているのにもかかわらず、あるマスコミから一部の市民の反対する声について記載した記事が掲載された。また、議会報告会でも市民から注目されていることが伺えたが、そのような声を当局としてどのように捉えているか。

総合企画部長：一部マスコミでの記事は承知している。それももちろん市民の声だと思っている。

議会報告会であった意見も踏まえ、パブリックコメントや市民説明会を経て、それら全て市民の声について斟酌するとともに、説明を尽くしながら進めたいと考えている。

三井田委員：パブリックコメントや市民説明会、議会からの意見、検討委員会からの意見について取りまとめ後、公表するということがよいか。

新庁舎整備室長：そのように考えている。

真貝副議長：問題となるのは、規模の想定や建設予定地への諸条件の対応である。まちづくりの方向性とどのような関連性を持たせるのかが不明瞭である。庁舎建設については、この基本計画でよいが、まちづくりとの関連性が含まれないままに設計にいたってしまう事が懸念される。柏崎駅前地区地区計画を定め、準工業地から商業地域にし、にぎわいを取り戻そうとしたことがはじまりである。これの整合性をとることが、新庁舎とまちづくりの関係を説明することになると思うが、その辺の議論はどうなっている。

総合企画部長：新庁舎は、中心市街地につくることから、基本計画では、庁舎機能にとどまらず、賑わいを創出の視点も入れて、中心市街地の活性化の在り方についても検討してきた。指摘の整合性を考慮しながら、引き続き来年度以降も検討していきたい。

真貝副議長：建設検討委員会は今年度で期間が終わるが、あと3、4か月でまちづくりの方向性について、結論が出るのか懸念される。来年度以降、新たに委員会を立ち上げる等まで説明が欲しい。まちづくりの事を本当に考えるのであれば、附属機関化すべきであったのではないか。

三井田委員：併せて、ガス事業の民営化後の土地利用やサイカワ跡地、駐車場の活用等について、時間的なマイルストーンが見えてこない。少なくとも時間軸がわかるようにこの特別委員会に提示する必要があると思うが。

総合企画部長：検討委員会は基本的には、新庁舎の内容について検討していただいた。中心市街地活性化については、新年度引き続き検討するが、その手法については現在詰めている。また、ガス事業の民営化等その他の中心市街地に関連のある様々な事業については、全庁的に考え、それを踏まえて時間軸を検討する必要があると思う。

真貝副議長：総合計画と並行して走り出すのであるから、主導権は、最終的には総合計画にあるので、総合計画と整合性を図る必要がある。9月の全員協議会において、中心的市街地として検討する範囲はどこまでかと市長に確認した意図はそこにある。

真貝副議長：まちづくりがどうなっていくかという事が市民は心配だと思う。まちづくりの方向性についてさらに検討して欲しい。

また、財務の関係について、後年度負担がどうなるかということも重要である。財務部で庁舎の建設について、一度試算した際、合併特例債とPFIを活用した方がよいと結論が出ていたはずである。であるならば、PFIの比較検討した資料を出して欲しかった。パブリックコメントにかけるのだから、そういったところは、きちんとした資料として提示し、議会にも市民にも説明するべきであると思うがどうか。

新庁舎整備室長：資料編にPFIに関して記述がある。豊島区がPFIの手法を活用し、成功した例は承知している。各々メリット、デメリットがあるが、それらを比較した上で、今回は、PFIは採用しないことで意見の一致を得た。

真貝副議長：一番新しい手法は、リースである。そういったことも検討したか。

新庁舎整備室長：リースについても検討はしたが、リース期間満了後の対応が難しく、後年度に新たな負担が発生する可能性が高い事から、基本計画への掲載については割愛した。

真貝副議長：検討したことについて、理解した。また、駐車場について、フォンジェは残すと基本計画にあるが、契約をしている訳であるから、どのような話し合いをしているのか。

新庁舎整備室長：フォンジェの駐車場は、職員用駐車場であるが、先方へ正に打診した訳ではなく、当局の希望を掲載したもので、確約されたものではない。契約更新の際に協議することとなると思う。

相澤副委員長：当局に要望等が数件出ていると思うが、その扱いはどうなるのか。パブリックコメントの際に改めて出す必要はないという理解でよいか。

新庁舎整備室長：要望書については、各々対応させていただいており、折に触れて公表もしてきた。市民の意見に変わりはないので、斟酌しながら進めたいと考えている。

総合企画部長：基本計画（案）については、検討委員会及び議会からの意見、さらにパブリックコメントと市民説明会での意見を踏まえ、成案にしていきたいと考えている。

【協議事項】

市長への要望について

《概要》

前回の特別委員会での議論を踏まえ、要望書として取りまとめたが、その要望書の内容を精査する為、議論を実施した。庁舎の現状と課題については、全員一致で了承された。

《質疑》

持田委員：「新庁舎の規模と防災を含む機能、建設思想、市民サービスについて」の要望の一つに、「防災基地としての機能を確保されたい。」と記載があるが、防災拠点と修正して欲しい。

佐藤（正）委員：「新庁舎の規模と防災を含む機能、建設思想、市民サービスについて」の要望の一つに、「庁舎案内を充実されたい」とあるが、その中身が観光協会についての記載となっており整合性がとれないのでは。

相澤副委員：庁舎の案内に力を入れて欲しいという意味合いで記述した。

三井田委員：「庁舎案内を充実されたい」は、ユニバーサルデザインで包括される。観光案内については、庁舎自体に整備するのではなく、庁舎の外で、デジタルサイネージや駅に端末を設置してはどうかという意見だったはずである。そのように修正すればよいのでは。

加藤委員長：「ユニバーサルデザインを採用されたい。」の要望の中に、観光案内については、こうであるという形でまとめるのでどうか。

矢部委員：「ユニバーサルデザインを採用されたい。」はそのまま生かし、その中に庁舎案内の充実をも含めた表現にまとめてはどうか。

真貝副議長：規模と防災を含む機能、設計思想、市民サービスについての要望の項目の一つである。庁舎内で観光案内を充実させるという表記は違うと思う。「新庁舎建設と周辺の利活用について」の項に入れた方がよいと感じるが、どうか。

加藤委員長：「新庁舎建設と周辺の利活用について」の要望の一つとして整理したい。表現については、委員長一任として欲しい。（→了承）

村田委員：「庁舎内の案内を充実されたい（わかりやすい表示）」はそのまま残してはどうか。

飯塚委員：そのまま残した方がいいと思う。観光のくだりを削除すれば問題ない。

加藤委員長：「庁舎内の案内を充実されたい（わかりやすい表示）」はそのまま残して、観光のくだりのみ、「新庁舎建設と周辺の利活用について」の項に表現を修正して入れたいと思う。

持田委員：「コストを考慮しつつ、木造の温かみを多く取り入れられたい（地元木材）」とあるが、木造の温かみだと少し意味合いが違う、木材が正しい。

柄沢委員：関連して、フローリングや仕上げ面に木材を使用するという意見と、議会棟を木造にしてはどうかという意見とがあった。構造体なのか、木材を使用するのか区別が必要なのでは。

飯塚委員：「コストを考慮しつつ、木造の温かみを多く取り入れられたい（地元木材）」の説明文は不要である。

村田委員：地元木材では、意図していることが不明瞭である。補助金活用を想定しているので、県産材も含むという意味合いに修正して欲しい。（了承された。）

三井田委員：「防災基地としての機能を確保されたい」の中に、「バックアップ電源として水素エネルギーを利用」とあるが水素エネルギーと限定してしまうのか。水素エネルギーを採用した場合には、常駐の電気主任技術者が必要など、大変である。限定してしまうと少し難しいと思うが。

加藤委員長：水素エネルギーの意義もあるが、等を入れて少しやわらかい表現に修正したい。

若井（恵）委員：「チャイルドスペース（キッズスペース）を確保されたい」とあるが、キッズスペースには、授乳室も併設されるのか。授乳室があるキッズスペースにしてもらいたい。記載がないが、障害者が働いている就労スペースの確保について追加して欲しい。

飯塚委員：みらい連合から、障害者の雇用の場の確保という事は、要望として出しているの、ぜひ追加して欲しい。

三井田委員：新庁舎建設検討委員会では、食堂はいらぬという結論を出している。障害者の雇用の場として、食堂の議論とうまく合わせれば、可能なのではないかと思う。

若井（恵）委員：アオーレ長岡にもそのような喫茶がある。ぜひ要望して欲しい。

加藤委員長：「食堂・販売所など障害者の雇用の場を確保されたい」という記載を追加することと

したい。また、授乳室については、キッズスペースに関する記載として追記したい。

真貝副議長：障害者だけに限定するのではなく、柔軟性を持った表現にして欲しい。

三井田委員：現庁舎の売店は母子家庭の支援を目的としている。福祉に資する売店、食堂の機能を検討されたいという表現でどうか。

加藤委員長：障害者に限定せず、福祉という表現にしたい。

持田委員：「柏崎税務署、柏崎年金事務所、柏崎保健所などの複合化に関して」となっている。要望なのであるから、検討されたいと結ばないといけないのではないか。また、「今すぐ全てをそろえることはできないため、窓口・相談機能を設けることの協議をされたい。」はいらないのではないか。「将来的な市民サービス向上に向け前向きな検討を進められたい」と記載されているので、そこで包含されていると思うが。

矢部委員：国の機関は、協議するのに期間が必要である。したがって、せめて、窓口機能を検討すべきでないかという議論だったはずである。わかるような表現にして修正して欲しい。

三井田委員：表現の問題である。すぐに複合化できないから、将来的に、利用できるようなつくりにして欲しいという事であったと思うが。

齋木議長：「プロポーザル時に将来活用可能なつくりをリクエストされたい」が不要である。「将来的な市民サービス向上に向け前向きな検討を進められたい」と「今すぐ全てをそろえることはできないため、窓口・相談機能を設けることの協議をされたい。」を一緒にした方がわかりやすい。

加藤委員長：そのように修正したい。

春川委員：「3 建設手法とその財源について」の中に、「地元の労働力を多用されたい」とあるが、この表現はいかがなものか。

持田委員：労働力だと人に限定されてしまうが、産業機能一般を意図している。

三井田委員：「地元の資材を多用されたい」と一緒にして、「地元経済に資するよう配慮されたい」でよいのでは。（了承された。）

真貝副議長：前回まで、あまり議論にならなかったが、建設思想の方に、コストの削減を考慮しつつ、後年度負担の削減に努めることと追加して欲しい。地元の資材や産業に資するというのは、建設思想になるではないか。さらに、「免震機能を採用されたい」は防災機能の一部になるのでは。

加藤委員長：建設思想に入れることとしたい。免震機能については、「防災拠点としての機能を確保されたい」に追加したい。

村田委員：そうすると「3 建設手法とその財源と課題について」の要望は項目が一つしか残らなくなるが。

真貝副議長：各会派の意見では、プロポーザルをやるとか、市の将来的負担の軽減について記述がある。したがって、コスト削減について触れておいたが良いのでは。

加藤委員長：「PFIに関して再度ご検討いただき、その内容について議会に説明されたい」については、PFIを抜いて、将来負担・事業コストの削減を目指して欲しいという表現に修正したい。

加藤委員長：本日の意見を取りまとめて、市長へ要望として挙げることでよろしいか。主旨を変えない範囲での文言の修正は正副委員長一任して欲しい。また、渡す時期についても、日程調整が必要なことから、正副委員長一任として欲しい。（了承された。）

齋木議長：追加として、市長へ議会として要望を挙げるのであるから、各会派で意見の統一を図って欲しい。